●毎月第一週は、 松浦武四郎の人となりに ついてご紹介します

るからなのです

(図版参照)。

監修・松浦武四郎記念館

すから、

毎日絵日記を付けて

た絵師河鍋曉斎の日記

これは、幕末明治期に活躍

たんですね。来訪者とか、もらっ

成しないので、 いました。ところがなかなか完 です。この頃、武四郎さんは曉 でしょうか) 日手帳〉 いう大作の絵の制作を依頼して た画料とか……今流行の ょっちゅう登場しているの 『北海道人樹下午睡図』と 明治版というところ に、武四郎さん、 しばしば催促に 会は

美術関係者……特に明治期の 〈松浦武四 やって来ては、イヤミを連発し て帰って行ったようです。

90

でして大大人の

2018年(平成30年)6月6日(水)

発行・松阪市

という資料はあちこちに残され みの丸いのは柚子でしょうか の話だったんでしょうね? なっている日もあります(なん ゲンに漫画の吹き出しみたいに よく喋っていたみたいで、 ていますが、曉斎の家でもまぁ 武四郎さんが話し好きだった とか描いてあります。

さんの似顔絵とその横に

(V)

どうしてかというと、

武四

み〉と描かれたものが残って

と言います。

郎〉というと、だいたいの人が

-----ああ、あのイヤミ老人ね

浮世絵に詳しい人に

み半分そう揶揄したのですが 勢商人は勤倹であることをひが いのでそう呼ばれたのだとか。 と相手が根負けするまでしつる 欲しい物があると、「くれ、くれ 食松浦〉と呼ばれていました。 古物コレクターの間では、 近江商人は商才に長け、 伊勢乞食」と言ったそうで 方で、当時、武四郎さんは 江戸っ子はよく「近江泥

90

96

爺さん。そう思うとちょっと親 ういう声の大きな話し好きのお ですが、今もいますよねぇ、こ なんだかあんまりな言われよう いる武四郎さんが、 とからそんな渾名がついたみた しみも感じられるような・・・・・。 に松浦武四郎命として祀られて いです。北海道神宮の開拓神社 武四郎さんも伊勢出身であるこ △〉とか〈乞食松浦〉 ヘイヤミ老 とか…



▲松浦老人 いやみ (絵がな かなかできなくて、激怒!)



▲右、松浦先生(チョンマゲ!)



松浦武四郎 (1818 ~ 1888)

三重県松阪市出身。幕末から明治にかけ ての探検家、著述家、蒐集家。 蝦夷地(今 の北海道)を6度にわたり探査し、ア イヌの人々と交流を深め、蝦夷地の詳細 な記録や地図を作成した。維新後、蝦夷 地に代わる新たな名称として〈北海道〉 のもととなる〈北加伊道〉を含む6案 を政府に提案したことから〈北海道の名 付け親〉と称される。



※図版はすべて『曉斎日記』(河鍋曉斎美術館)より

は 記に描かれている武四郎さん ちなみに明治十四年一月の日 まだチョンマゲです!

文・河治和香 ・りんたろう 編集・細山田正人 デザイン・DOMDOM



